

ドコモのブラックベリー戦略

2008年9月29日
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
ソリューションビジネス部長
串間 和彦

本資料に記載されている、将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり将来実現しない可能性があります。その原因となる潜在的リスクや不確定要因としては以下の事項があり、これらはいずれも当社グループの事業、業績または財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。また潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

1. 携帯電話番号ポータビリティ制度、新規事業者の参入など市場環境の変化により競争が激化するなか、通信業界における他の事業者及び他の技術等との競争に関連して、当社グループが獲得・維持できる契約数が抑制されたりARPUの水準が逡減しつづれたり、コストが増大する可能性があること
2. 当社グループが提供している、あるいは新たに導入・提案するサービス・利用形態・販売方式が十分に展開できない場合、当社グループの財務に影響を与えたり、成長が制約される可能性があること
3. 種々の法令・規制・制度の導入や変更または当社グループへの適用により、当社グループの事業運営に制約を課されるなどの悪影響が発生し得ること
4. 当社グループが使用可能な周波数及び設備に対する制約に関連して、サービスの質の維持・増進や、顧客満足の継続的獲得・維持に悪影響が発生し得ること
5. 第三世代移動通信システムに使用している当社のW-CDMA技術やモバイルマルチメディアサービスの海外事業者への導入を促進し、当社グループの国際サービス提供能力を構築し発展させることができる保証がないこと
6. 当社グループの国内外の投資、提携及び協力関係や、新たな事業分野への出資等が適正な収益や機会をもたらす保証がないこと
7. 当社グループの携帯電話端末に決済機能を含む様々な機能が搭載され、当社グループ外の多数の事業者のサービスが携帯電話端末上で提供される中で、端末の故障・欠陥・紛失等や他の事業者のサービスの不完全性等に起因して問題が発生し得ること
8. 当社グループの提供する製品・サービスの不適切な使用により、当社グループの信頼性・企業イメージに悪影響を与える社会的問題が発生し得ること
9. 当社グループまたは業務委託先等における個人情報を含む業務上の機密情報の不適切な取り扱い等により、当社グループの信頼性・企業イメージの低下等が発生し得ること
10. 当社グループが事業遂行上必要とする知的財産権等の権利につき当該権利の保有者よりライセンス等を受けられず、その結果、特定の技術、商品またはサービスの提供ができなくなる可能性があること、また、当社グループが他者の知的財産権等の権利の侵害を理由に損害賠償責任等を負う可能性があること
11. 地震、電力不足、機器の不具合等や、ソフトウェアのバグ、ウィルス、ハッキング、不正なアクセス、サイバーアタック等の人為的な要因に起因して、当社グループのサービス提供に必要なネットワーク等のシステム障害や当社グループの信頼性・企業イメージの低下等が発生し得ること
12. 無線通信による健康への悪影響に対する懸念が広まることあり得ること
13. 当社の親会社である日本電信電話株式会社が、当社の他の株主の利益に反する影響力を行使することがあり得ること

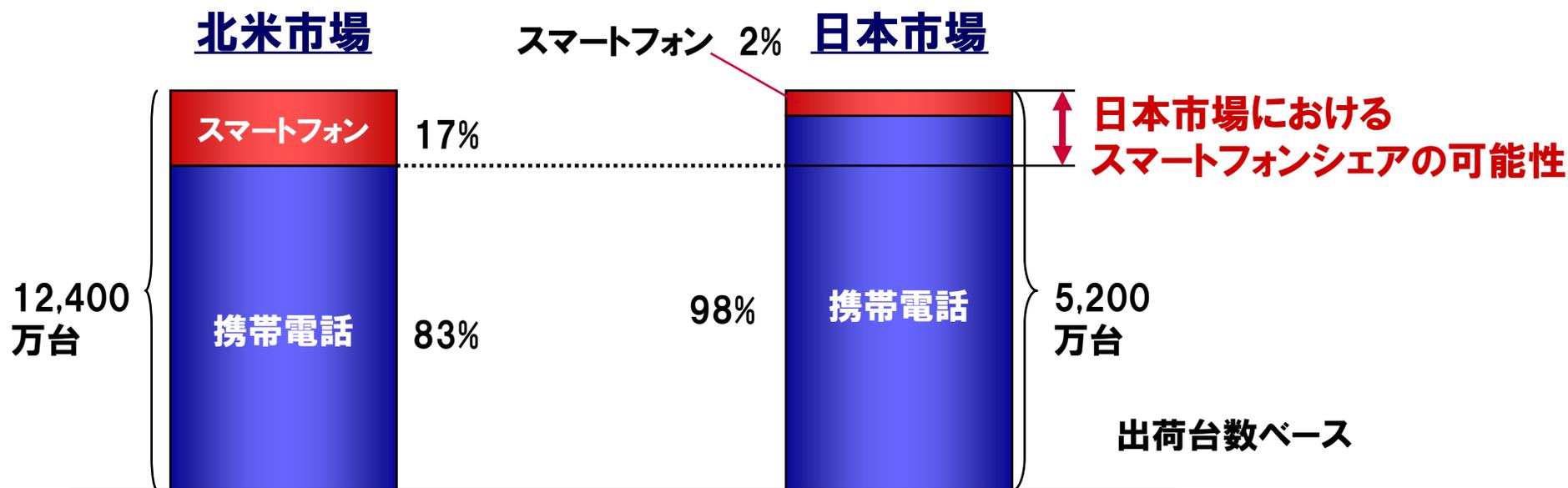
1. これまでのドコモのスマートフォンの展開

- BlackBerry Boldは、高いセキュリティを備え、企業メール等、ビジネスユース向けの要求にも応えるとともに、音楽・ビデオ・ゲームなどエンターテインメントの機能を大幅に強化。
- ビジネスユースとパーソナルユース双方の要求に応える、最強のスマートフォン。



2. 高いスマートフォン市場のポテンシャル

- 北米と異なり、スマートフォン普及前に、i-modeなどコンシューマ向けモバイルインターネットサービスが創出・普及したため、スマートフォン普及率は北米と比較し低い。
- 携帯電話に比べ汎用的なプラットフォームであるスマートフォンは、多様化するモバイルへのユーザーニーズに合わせ、用途に応じた柔軟なサービス・アプリケーションの提供が可能。
- 国内モバイル市場の成熟とともに、幅広いユーザーニーズに対応できるスマートフォンは、国内において今後加速的に普及すると予測。



※出典:【北米市場】NPD Group (2008年1Q 米国携帯電話販売台数 3100万台に占めるスマートフォン比率)

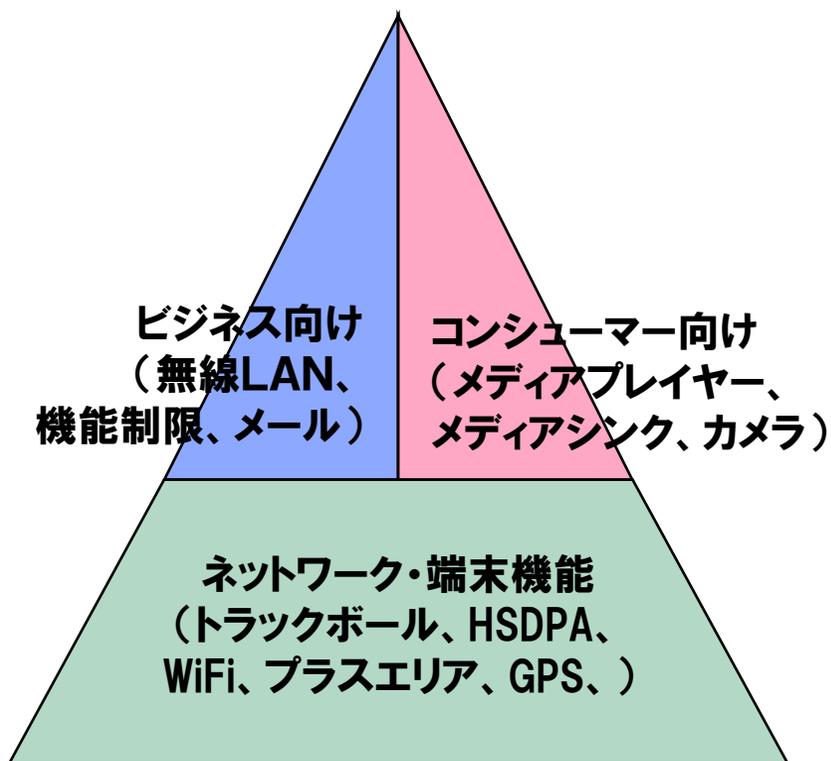
【日本市場】(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)、(2007年度携帯電話出荷台数、5167万台)

ROA Group 「日本スマートフォン市場分析」(2007年度スマートフォン出荷台数予測、110万台)

3. さらに強化されたBlackBerry Bold

- 端末そのものの機能強化はもちろん、ビジネス向け・コンシューマー向けの機能をそれぞれ大幅に強化し、「パソコンの利便性を手のひらに凝縮したスマートフォン」を実現。

BlackBerry Boldの新機能



1. ビジネス、コンシューマー双方のニーズに応える新機能

- ✓ FOMAハイスピード (3.6Mbps) 対応
- ✓ 無線LAN (a/b/g)対応
- ✓ FOMAプラスエリア対応
- ✓ GPS機能の搭載

2. ビジネスシーンの要求に応えるスマートパッケージ

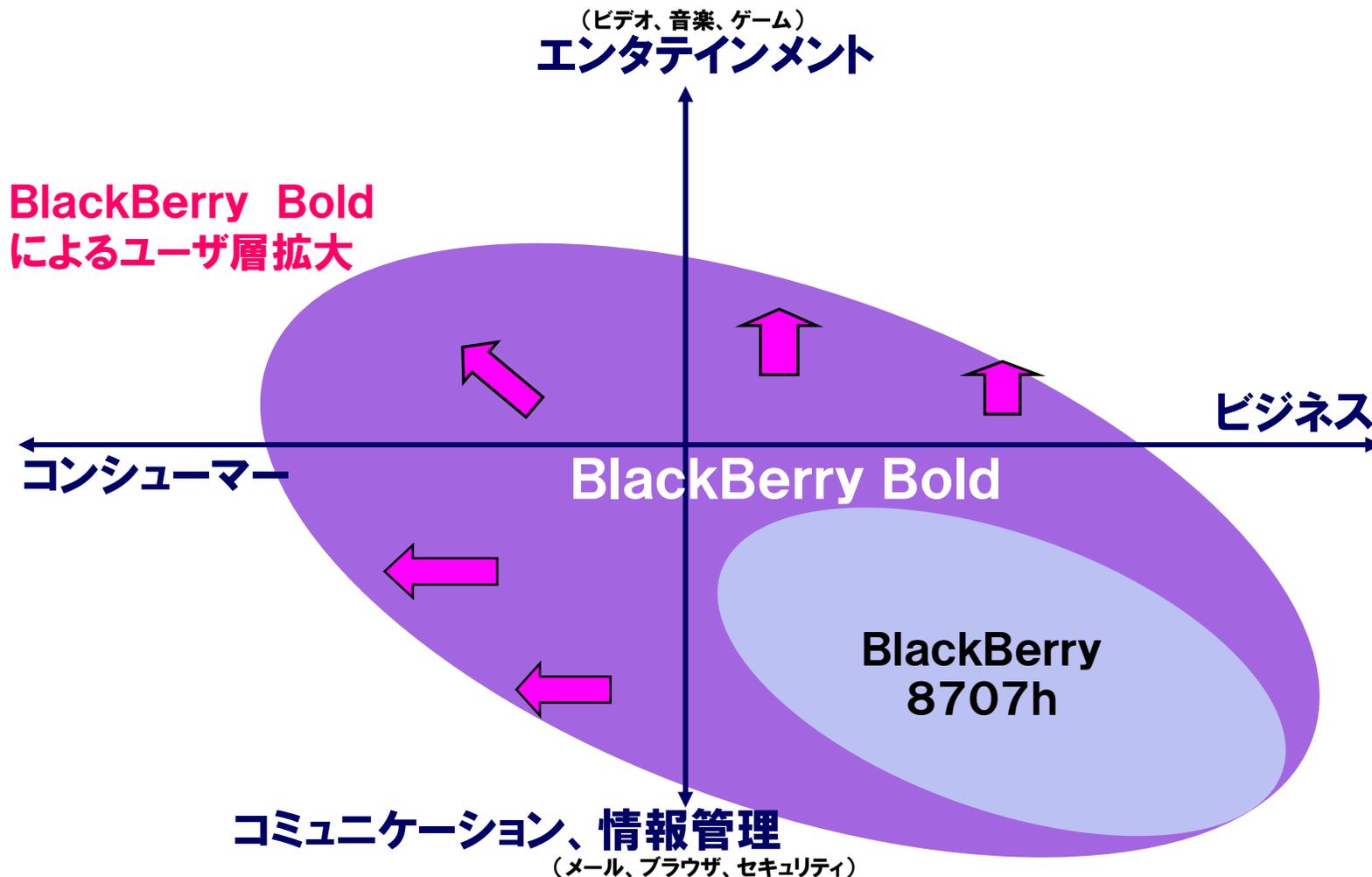
- ✓ 企業内無線LANを経由したBESとのシンクロ
- ✓ カメラ・外部メモリの機能制限
- ✓ 強化されたメール機能 (HTML対応)

3. 強化されたコンシューマー向け機能

- ✓ 洗練されたメディアプレイヤー
- ✓ BlackBerryメディアシンクアプリケーション
- ✓ カメラ (動画・静止画)

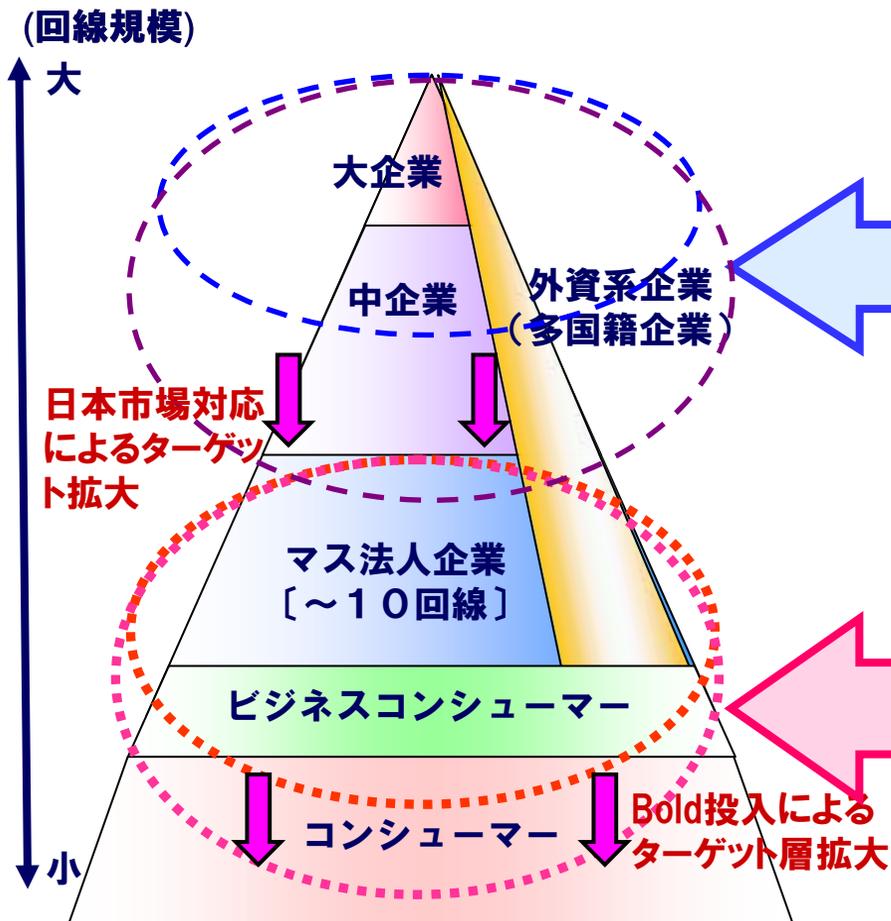
4. BlackBerry Boldのポジショニング

- 従来の機能に加え、強化されたエンタテインメント機能により、これまでのメインユーザーであるビジネス層のみならず、コンシューマ層にむけて大きくユーザ層が拡大。



5. 顧客層にあわせた柔軟なご利用パッケージ

- 法人企業、個人ユーザーそれぞれのお客さまの利用スタイル・ニーズに合わせた柔軟な BlackBerry 利用パッケージをご提供。



ブラックベリーエンタープライズソリューション

- 情報セキュリティと生産性向上が必須の法人企業を対象に、BlackBerryデバイス・ネットワークサービス
- BESサーバーをセットにした企業向けパッケージ。
- ユーザ層は、大・中企業、外資系企業、金融業界、海外展開している日本企業。

ブラックベリーインターネットサービス

- 手軽に利用できるコミュニケーション機能(フリーメール、ISPメール、インターネットブラウジング)と強力なエンターテイメント機能(メディアプレイヤー、メディアシンク、カメラ)をセットにした個人ユース向けパッケージ。
- ユーザ層は、ビジネスコンシューマー、SoHo事業主、個人事業主をはじめとする、コンシューマー層。

6. ビジネスにおける活用事例

- 今後BlackBerryは、メール+PIMシンの基本機能に加えて、様々な企業アプリケーションを追加することにより、ビジネスシーンの期待に応えるスマートパッケージへ。

【基本機能】リアルタイムプッシュEメール + PIM(スケジュール、アドレス帳)との同期

■今後の新たな活用例

ワークフロー

(例)社内決裁申請・承認、旅費精算

モバイルSFA/CRM

(例)営業支援システム、企業DBアクセス

リアルタイム情報配信

(例)金融マーケット情報配信

ナビゲーション機能

(例)外勤社員の効率的配置等

※BlackBerryでは、管理者からユーザー(端末)へアプリケーションをプッシュ配信できる特徴的な機能を持つ。

7. BlackBerry Bold発売に向けた取り組み

- ・「パソコンの利便性を手のひらに凝縮したスマートフォン」をより安心してご利用いただけるよう各種施策を展開。

1. ハイスピードのFOMAネットワーク

- ・ FOMAハイスピード(受信最大3.6Mbps)およびFOMAプラスエリアに対応。

2. パケット定額の導入

- ・ わかりやすく、安心してお使いいただけるようなパケット定額プランを導入予定。

3. お客様サポート体制の強化

- ・ 専用コールセンター「ドコモ・ブラックベリー・ケア」による電話・ネットでのお客様サポートに加え、対面でのサポート体制を強化・整備。

4. 日本語コンテンツ・アプリケーションの販売

- ・ ポータルサイトを開設し、日本語コンテンツ・アプリケーションの販売・流通体制を整備。

5. SIベンダー・アプリベンダーとの協業

- ・ サーバー構築ベンダー、アプリ開発ベンダーの協業・販売体制を整備。